



平成 29 年 2 月 10 日

各 位

東京都渋谷区神宮前 1 丁目 14 番 34 号原宿神宮の森
会社名 日本スキー場開発株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 鈴木 周平
(コード番号：6040 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役 宇津井 高時
電話番号 03-6434-0011

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年9月2日に公表しました平成29年7月期第2四半期（累計）業績予想及び通期の業績予想の修正について下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成29年7月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正（平成28年8月1日～平成29年1月31日）

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------|-------|-------|-------|----------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 3,530 | 433 | 431 | 320 | 40円00銭 |
| 今回修正予想 (B) | 3,000 | 160 | 155 | 60 | 7円50銭 |
| 増減額 (B-A) | △530 | △273 | △276 | △260 | |
| 増減率 (%) | △15.0 | △63.1 | △64.0 | △81.3 | |
| (ご参考) 前年実績 | 2,740 | 6 | 3 | △155 | △19円38銭 |

2. 平成29年7月期通期連結業績予想の修正（平成28年8月1日～平成29年7月31日）

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------|-------|-------|-------|---------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 7,000 | 1,050 | 995 | 680 | 85円00銭 |
| 今回修正予想 (B) | 6,300 | 600 | 590 | 280 | 35円00銭 |
| 増減額 (B-A) | △700 | △450 | △405 | △400 | |
| 増減率 (%) | △10.0 | △42.9 | △40.7 | △58.8 | |
| (ご参考) 前年実績 | 5,584 | 107 | 95 | △117 | △14円63銭 |

3. 修正の理由

平成28年9月2日に公表しました平成29年7月期業績予想の前提条件は、前期は歴史的な小雪により、来場者が減少したため、通常の積雪状況における来場者として、平成27年7月期の来場者実績、顧客単価実績及び直近の動向や過去の平均的な気象条件を元に、来場者数・客単価を見積もり、作成しました。期初時点における、当期のウィンターシーズンにおける来場者数については、1,880千人（前期比126.7%）と見積もっておりました。一方、費用については、各スキー場別に前年実績及び直近の状況を織り込んで見積もりしておりました。

そのような中、前期に引き続き、昨年12月から本年1月前半にかけて、本州では小雪となったことから、当社が運営するスキー場においては、小雪対策投資を重点的に実施した川場スキー場及びめいほうスキー場では、前期よりも来場者が増加した動きが見られたものの、当初想定しておりました積雪量が通常年と比較して少なく、一部のスキー場において、オープン日が予定より遅延し、また、オープンしたものの雪不足により、全てのスキー場において、滑走エリアを十分に確保できなかったことなどの影響を受けました。その結果、とりわけ、HAKUBA VALLEY白馬八方尾根スキー場・HAKUBA VALLEY白馬岩岳スノーフィールド・HAKUBA VALLEY栂池高原スキー場・HAKUBA VALLEY鹿島槍スキー場において来場者数が減少いたしましたため、売上高が減少いたしました。

そして、その売上高が減少しました結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が減少いたしました。

《ウィンターシーズン》

スキー場別来場者数

(単位:千人)

| 運営スキー場名 | 平成26年11月 ～平成27年1月 実績 | 平成27年11月 ～平成28年1月 実績 | 平成28年11月 ～平成29年1月 | | 対比 (A/B) |
|---------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------|--------|-------------|
| | | | 実績 (A) | 計画 (B) | |
| HAKUBA VALLEY白馬八方尾根スキー場 | 189 | 163 | 157 | 189 | 83.6% |
| HAKUBA VALLEY白馬岩岳スノーフィールド | 52 | 24 | 31 | 53 | 59.0% |
| HAKUBA VALLEY栂池高原スキー場 | 115 | 127 | 116 | 135 | 86.4% |
| HAKUBA VALLEY鹿島槍スキー場 | 68 | 50 | 43 | 74 | 59.3% |
| 竜王スキーパーク | 105 | 100 | 91 | 104 | 87.9% |
| 川場スキー場 | 64 | 42 | 72 | 69 | 104.0% |
| めいほうスキー場 | 103 | 54 | 83 | 102 | 81.5% |
| 菅平高原スノーリゾート | ※ — | 121 | 126 | 146 | 86.3% |
| 計 | 700 | 685 | 723 | 874 | 84.1% |

※菅平高原スノーリゾートは、平成27年11月より当社グループに加入しており、「平成26年11月～平成27年1月実績」の来場者数を記載しておりません。

また、年間（平成28年8月から平成29年7月）を通してのスキー場全体の来場者数の見積もりについては、前月までの来場者実績に加えて、直近の来場者動向を踏まえた来場者数を改めて見積りを行い、来場者の減少を見込んだことにより、期初予想の1,880千人から1,620千人へ変更いたしました。1月中旬以降

に一定の積雪があったため、スキー場の閉鎖時期については、通常のシーズンと同様としております。

なお、費用については、期初時点の前提をもとに見直しを行っております。具体的には売上高の減少により連動する人件費や仕入原価等の原価項目が減少したり、燃料等のエネルギーコストが当初想定より減少したり、当初予定していた施設の修繕や部品等の交換については当初想定より調達価格が減少したり、劣化や減耗が少なくなった結果、売上原価及び販売費及び一般管理費を期初時点から約260百万円程度減少する形で見直しております。

(注)上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上